

平成 22 年度「教員の IT 利用環境整備の調査研究」
J K A 補助事業「学校教育現場におけるテレワークシステムの実証実験」

実施計画書作成要領

平成 22 年 6 月 1 日

財団法人コンピュータ教育開発センター

1. 本要領の目的

本要領は、平成 22 年度「教員の IT 利用環境整備の調査研究」事業の J K A 補助事業「学校教育現場におけるテレワークシステムの実証実験」に応募する際の実施計画書の記載事項、記載方法を提示することを目的とする。

2. 実施計画書の定義と目的

2. 1 定義

実施計画書は、応募者が実施するテレワークシステム実証実験について、その内容及びそれを実現するために必要な作業に関する実施計画を作成し、目的、実施内容、スケジュール等をまとめたものです。

2. 2 目的

実施計画書は、応募者が実施しようとするテレワークシステム実証実験の内容を具体的に示すことにより、財団法人コンピュータ教育開発センターがその実施内容を確認して、審査するために作成していただくものです。

3. 実施計画書の概要

実施計画書の主要な構成(章立て)と記述概要を次頁以降に示します。

(表紙)

(目次)

- ・本文の章・節のタイトルとそのページ番号を記述します。

1. 目的

- ・今回のテレワークシステム実証実験公募に応募した理由を示してください。
- ・今回のテレワークシステム実証実験の目的を示してください

2. テレワークシステムの概要

2. 1 テレワークシステムの機能構成

- ・今回、テレワークシステム実証実験を行うテレワークシステムが有する機能を示してください。

2. 2 ネットワーク構成

- ・今回、テレワークシステム実証実験を行うネットワーク構成について概要図を用いて示してください。
- ・ネットワークの一部（例えばサーバ）が、校外にある場合は、それらの施設を含めて示してください。
- ・想定されるテレワーク利用場所と学校ネットワークとの接続例も示してください。
- ・想定するパソコンの接続数を示してください。
- ・テレワークで使用するサーバに接続される回線の通信速度（上り、下り）を示してください。

2. 3 サーバ構成

- ・今回、テレワークシステム実証実験を行うネットワークのサーバ構成について示してください。

3. テレワークシステムの活用方法

3. 1 実験対象校について

- ・テレワークシステム実証実験を行う学校についての概要（学校規模、参加教員数等）を示してください。

3. 2 活用方法

- ・今回のテレワークシステム実証実験にて、テレワークシステムをどのように活用しようとしているか、活用場面、ケースを示してください。

4. 導入・運用研修

- ・テレワークシステム実証実験の導入時に実施する研修を、研修名と対象者、研修内容について示してください。

5. 運用・サポート

- ・テレワークシステム実証実験の期間中、テレワークシステムの運用に関する技術的なサポートをどのように行うか、サポート体制図等を用いて示してください。

6. 評価検討

6. 1 システム収集データ項目等

- ・テレワークシステム実証実験で収集できるデータ項目（テレワークの利用程度を確認できる利用回数、接続時間他）とその収集単位等を示してください。

6. 2 アンケートについて

- ・アンケート実施計画案について、その概要を示してください。
- ・テレワークシステム実証実験に参加された方々へのアンケートを実施する際に、収集を希望する項目とその目的を示してください。

6. 3 評価検討

- ・テレワークシステム実証実験を通じて得られたデータ（システム収集データ、アンケートデータ）に基づき実施する評価検討の具体的な方法を示してください。

(1) 実用性評価

例) 教員に対するアンケート、教員に対するヒアリングを行い…

(2) 機能評価

(3) コスト評価

例) 導入時の機器・ソフトウェア費用、人件費(工数)について、実際に発生したものを集計する。また、運用時のサポート工数についても…

(4) セキュリティ評価

例) ログ解析によるアタック種別・回数・アタックの成否を記録する。また、発見された脆弱性の危険度と、それに対するセキュリティアップデートまでの期間についても記録し…

(5) その他

上記以外の評価検討項目があれば記述します。

7. 原状回復

7. 1 原状回復対応

- ・テレワークシステム実証実験を終了して、原状回復するための対応事項（対象と対応内容）を示してください。

7. 2 確認方法

- ・原状復帰作業後、原状復帰できたことを確認する方法（対象と確認内容）を示してください。

8. 納品

8. 1 納品物

- ・最終納品物は印刷物 2 部とその電子データ（CD に格納）1 式とします。
納品物の権利についても、要望がある場合にはその内容を記述してください。
納品物は実施報告書のほか、公募要領の 2. 実証実験内容に示すものです。
- ・実施報告書の作成要領は、後日お示しします。

9. スケジュール

9. 1 作業項目一覧／役割分担

- ・テレワークシステム実証実験にかかわる作業項目を一覧に示し、あわせてその作業項目の分担を示してください。

9. 2 実施スケジュール

- ・作業項目一覧に示した作業項目を基本に、今回のテレワークシステム実証実験の実施スケジュールを示してください。

10. 体制

- ・今回のテレワークシステム実証実験にかかわる作業体制がわかるように示してください。体制には以下の対象を含め、その役割と相互の関係を示してください。
 - ・参加する企業／団体名とその代表者
 - ・協力頂く学校名とその代表者
 - ・公立の場合は教育委員会、私学の場合は学校法人とその代表者

以上